

石炭・コークス・石油用 マイクロコンピュータ式多検体硫黄分析装置

商品番号: KT-CD2



前書き

石炭・コークス・石油の試験室向けに設計された本マイクロコンピュータ式多検体硫黄分析装置は、20検体の自動処理能力、二段階燃焼、高度な炭化ケイ素管加熱、および自己補正精度を備えた自動電量滴定を実現し、スループットと運用効率を最大化します。

詳細を学ぶ

用途	説明	主なメリット
発電所の石炭品質スクリーニング	原料炭および微粉炭中の全硫黄を迅速に測定し、ボイラー排出を監視して環境脱硫基準への準拠を確実にします。	1検体あたり5〜7分のターンアラウンドにより、迅速な燃焼最適化とコンプライアンス違反の回避を実現します。
冶金用コークスおよび炭素分析	高炉操業や製鉄に使用される冶金用コークス、鋳物用コークス、石油ニードルコークス中の硫黄含有量を定量試験します。	溶鉄への硫黄移行を防ぎ、構造用鋼の特性を保護し、炉の効率を向上させます。
石油化学および重油監視	原油残渣、燃料油、潤滑油、固体石油ピッチ留分中の硫黄濃度を評価します。	燃料の硫黄仕様への厳格な準拠を促進し、下流のクラッキング触媒を保護します。
商業鉱物試験および分析	第三者検査機関における商業用石炭出荷品、鉱石、固体可燃物の高スループットバッチ試験。	連続的なカラーセル補充により、完全なトレーサビリティと自動レポート作成を備えた24時間体制の試験を可能にします。
バイオマスおよび固形燃料（RDF）試験	バイオマスペレット、農業残渣、固形燃料（RDF）、合成固形回収燃料中の全硫黄を特性評価します。	産業用バイオマスボイラーや廃棄物発電所における硫黄起因の腐食リスクを正確に予測します。
学術および環境燃料研究	燃焼動力学、合成燃料開発、脱硫触媒効率、硫黄変換経路に関する学術研究。	自動アルゴリズム補正により、0%〜10%の硫黄範囲全体で一貫したベースライン精度を提供します。

技術パラメータ	仕様値 (KT-CD2)
製品番号	KT-CD2
主な用途	石炭、コークス、石油、可燃物
硫黄測定範囲	0%〜10%
検体バッチ容量	1シーケンスあたり1〜20検体（連続追加対応）
1検体あたりの分析時間	合計約5〜7分
燃焼滞留プロファイル	500°Cで45秒、1050°Cで4分45秒
炉の動作温度	1050°C ± 5°C（ユーザー調整可能）
温度制御精度	±5°C
温度測定グレード	グレード0.5
温度測定分解能	0.0001°C
加熱素子タイプ	炭化ケイ素（SiC）加熱管

技術パラメータ	仕様値 (KT-CD2)
高温ゾーン長	≥ 90 mm
昇温速度	20°C~25°C/分（約30分で1050°Cに到達）
電解セル容量	450 mL
白金電極表面積	150 mm ²
再現性 (St < 1.00%)	St,ad ≤ 0.05%
再現性 (St < 1.00%)	St,d ≤ 0.10%
再現性 (St 1.00% - 4.00%)	St,ad ≤ 0.10%
再現性 (St 1.00% - 4.00%)	St,d ≤ 0.20%
再現性 (St > 4.00%)	St,ad ≤ 0.20%
再現性 (St > 4.00%)	St,d ≤ 0.30%
試験規格への適合	GB/T 213-2008の要件を超える精度
エラー補正メカニズム	自動実験校正補正
温度補正	自動補正（測定誤差: 5%）
ハードウェア安全保護	炭化ケイ素管起動保護および過電流インターロック
電源要件	AC 220 V ± 22 V (220 V ± 10% / ±15%), 50 Hz
最大定格消費電力	≤ 4.3 kW
動作環境温度	5°C~40°C（測定実行ごとの周囲変動 ≤ 1°C）
動作相対湿度	≤ 80% RH
システム外形寸法	770 mm (L) × 460 mm (W) × 410 mm (H)
データアーカイブおよびインターフェース	自動履歴保存、クエリ機能、レポート印刷